

エコのことなら僕にお任せ!



「とうかい環境村民会議」だより

Vol. 5

村の環境保全や循環型社会の構築に向けて活動している“エコレンジャー”——それが私たち「とうかい環境村民会議」です！ 私たちの活動をシリーズで紹介していきます。

【問い合わせ】環境政策課環境計画推進担当(☎282-1711 内線1454)



その生ごみ捨てるの、ちょっと待って!

段ボールで“エコ得”コンポスト、有機肥料を作ろう!

循環型社会部会では、「生ごみを限りなく“ゼロ”にしていこう」を目標に活動しています。今回は、ダンボール箱の中で生ごみを肥料にする方法をご紹介します。▼ごみが少なくなり環境に良い▼竹パウダーが脱臭するため、嫌な臭いが抑えられ、集合住宅でも安心▼短期間(3か月程度)で作れてすぐ使える▼家庭菜園で再利用できる——など、いいことがいっぱいあります！ 皆さんも、ぜひチャレンジしてみてくださいね!



【材料】

- 厚手の段ボール箱… 1箱(薄手の箱を二重にしてもよい)
- 新聞紙… 1日分
- 米ぬか… 段ボール箱の半分程度
- 竹パウダー… 米ぬかに対して3分の1 **A**
- 納豆… 1粒
- 砂糖… 15g / ○ドライイースト… 5g / ○ヨーグルト… 25g **B**
- ぬるま湯… 250ml (37℃程度、50ml は納豆にかける分)
- 500ml のペットボトル容器… 1個

【作り方】

- ①段ボール箱の底に新聞紙を(なるべく厚めに)敷く。
- ②**A**を①の中でよく混ぜ合わせる。
- ③納豆に分量のぬるま湯をかけて納豆菌液(納豆の粒を除いたもの)を作る。
- ④**B**と③をボールに入れてかき混ぜ、ドロドロになったら、ぬるま湯が入ったペットボトルに入れてよく振る。
- ⑤④を温度が下がらないようにペットボトルホルダーなどに入れて、24時間置く。すぐに発酵が始まるので、ふたはガス抜きのためにゆるめておく。
- ⑥24時間後、できた液体の上澄みを②に入れて、さらによく混ぜ合わせる。
- ⑦毎日の生ごみを水気をよく切って⑥に入れ、よく混ぜる(これが有機土となる)。

【ポイント】

- 微生物が生ごみを分解するため、空気を入れてよくかき混ぜましょう。
- 生ごみの水気は腐敗の原因となるため、有機土のみを湿らせましょう。
- 発酵した匂いに虫が寄ることがあるため、布団や衣類収納用の収納袋等をかぶせることをお勧めします。
- 風通しが良くなるように、底を高くしましょう。稼働式の台に乗せると、さらに管理がしやすくなります。
- 段ボール箱が雨に濡れないように注意しましょう。



(モニターの声)とても簡単に作ることができました。最初は「毎日大変だな」と思いましたが、大量に入れた生ごみが魔法のように溶けてなくなるので、毎日様子を見るのが面白く、習慣化していきました。

